

令和2年度第1回武蔵野市自転車等駐車対策協議会における委員意見及び市の考えについて（報告）

令和2年度第1回武蔵野市自転車等駐車対策協議会（書面による開催）において提出されました委員意見及び市の考えについて、下記のとおり報告いたします。

- 1 意見書をご提出いただいた委員数 委員15名中の14名
- 2 協議事項についての承諾の可否 承諾する：14名／承諾しない：0名
- 3 協議事項に関するご意見と市の考え

委員のご意見	市の考え
レンタサイクル事業について	
レンタサイクル事業のニーズは少ないが、今後の在り方については、緊急用や非常用等の役割も踏まえた議論が必要であると感じる。近隣自治体と連携したレンタサイクルステーションが配置され、認知度も上がり、気軽に利用できる循環型利用が可能な環境が理想である。コンビニ等との連携など、将来的に可能性はあるように感じる。	レンタサイクル事業の今後の在り方について、利用状況等を整理し、別途協議させていただきます。
レンタサイクルは事業そのもののニーズについては検討しても良いかとも考えます。	

自動二輪の動向について

新型コロナウイルス感染症の影響でバイク通勤通学が増加傾向にあり、特に軽二輪（125cc超250cc以下）の販売実績が伸びている。ただ都心部への乗り入れ需要に限定される可能性もあり、今後、利用動向を注視しながら検討する必要がある。

自転車等総合計画において、自動二輪車の駐車場整備については、民営自動車駐車場を設置し、又は運営する事業者に対し、自動車駐車場の利用状況に応じて、その一部を二輪車駐車場へ転換する等について、引き続き要望するとしております。

東京都に対しては、店舗や共同住宅等に自動二輪車駐車場の設置を義務付ける「附置義務駐車場」を東京都の条例で規定するよう、引き続き要請するとしております。

新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症により密を避ける乗り物として、特に都市部において自転車の需要が増加しているというニュースを目にする。今後の自転車の新しい可能性と共に、自転車等駐車対策にも徐々に影響が出てくることも念頭に置いておく必要があると感じる。

令和3年度からの自転車駐車場利用体系の変更後の実態調査とともに、新型コロナウイルス感染症による自転車利用の動向についても、関係する部署と連携を図り、把握に努めたいと考えております。

4 今後の対応

委員意見を踏まえ、お示しした変更案の内容で料金改定等を行う方向で、市としての検討を進めさせていただきます。

武蔵野市都市整備部交通企画課